

# 衛生工学衛生管理者講習受講報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班 松下 昌史

## 1. はじめに（目的等）

霞地区・工学研究科・教育学研究科等各施設内に設置している局所排気装置等（ドラフトチャンバー）の定期自主点検者として業務に就いている。座学及び実験実習を通して点検業務と衛生管理者としてのスキル向上を図るため当該講習を受講した。

## 2. 期間・場所

期間：令和2年11月24日～27日

場所：中央労働災害防止協会：大阪安全衛生教育センター

（大阪府河内長野市河合寺 423-6）

## 3. 参加者

衛生管理講座 衛生工学衛生管理者4日コース：参加者16名※

※当初19名参加予定であったが、コロナ感染及び濃厚接触者になった3名が欠席

## 4. 研修内容

○職業性疾病の管理に関する知識（座学）

- ・職業性疾病に関する基礎知識・職業性疾病の発生事例及びその対策・健康管理の進め方・職業性疾病に関する教育の方法

○試験（職業性疾病）

○労働衛生工学に関する知識（座学）

- ・作業環境に関する基礎知識 作業環境改善の具体的な進め方
- ・作業環境測定の方法及びその評価・局所排気装置、全体換気装置、廃液処理装置  
その他設備に関する基礎知識・保護具に関する基礎知識と保守管理

○換気装置性能実験（実習）

○試験（衛生工学）

## 5. まとめと感想

大阪府内でコロナ感染者が急激に増加した期間に開催された。同施設内では講師はマスク・透明バイザーを着用して講義を行った。安全衛生を学ぶ研修施設としてコロナ対策を徹底していたのが印象に残った。制限された中での研修であったが、座学では平成20年に取得した第一種衛生管理者の知識を再確認する事が出来た。実験実習では囲い式（ブース式）フード・プッシュフル型換気装置等を稼働させて吸引風速を測定し排风量（制御風速）を計算するなど実践形式で行い大変有意義であった。研修で学んだ経験を今後の安全衛生業務に生かしていきたいと考えている。